

北海道教育大学旭川校ミニオープンキャンパス2023質問一覧

北海道教育大学旭川校ミニオープンキャンパス2023にご参加いただきありがとうございます。アンケートからいただいたご質問に回答いたします。もっと聞きたいこと、新たに疑問が出てきた等ありましたら、旭川校教育支援グループ (asa-nyushi@j.hokkyodai.ac.jp) までお気軽にお問い合わせください。

質問内容	回答
幼児教育分野の実習の内容、寮の雰囲気、旭川校でしかできない事、サークルはどのようなものがありますか？（教育発達専攻）	<p>幼児教育分野では、主に講義とゼミ活動で実践力と幼児教育についての知識や考えについて学びます。ゼミ活動は学生主体で行い、幼稚園や保育園で必要なピアノの弾き語り・手遊び・絵本の読み聞かせの練習や、造形領域や運動領域の遊びを考えて実践する活動をしています。</p> <p>講義では幼児教育やそれにつながる(小学校教育や心理学に関わることが多い)文献を読み、教授と学生で意見を交流する中でよりよい教育について考えていきます。これらの学びを生かして、4年次に旭川市内で3週間の幼稚園実習を行います。(幼児教育分野の学生は必修)幼稚園の教育を参観したり、園児と一緒に遊んだり、実習の最後には研究保育という自分で教育内容を考えて実践する活動があります。</p> <p>また、本校の特徴として1年次から参加するゼミ活動で自分の学びたいこと・身につけたい力を養うことができるということも魅力の一つかと思えます。寮の雰囲気は男女ともに学年関係なく仲良くなれるような雰囲気、という印象があります。誰とでも仲良くなれる人、友達を作りたい人にはオススメかもしれません。</p>
幼児教育分野の先輩方がなぜ旭川の幼児教育を選んだのですか？（教育発達専攻）	本校の幼児教育を選んだ理由は人それぞれだとは思いますが、北海道で唯一の国立大学で幼児教育を専門的に学ぶことができる、ということは大きな理由ではあると思えます。
食堂は何時まで使えるのでしょうか？また、寮の方は夜ご飯などは作っているのでしょうか？（教育発達専攻）	ご飯は自炊が基本です。食堂は13時まで使用できます。
ゼミについて何か冊子やホームページで詳しく見ることは出来ますか？社会科教育専攻のゼミは何がオススメ！とかはありますか？旭川教育大の社会科教育専攻の先生方で、この先生の授業楽しい！と思う先生はいますか？（社会科教育専攻）	<p>ゼミについての詳しい説明はYouTubeで「旭川校オープンキャンパス」など検索すると今年のオープンキャンパスの専攻別紹介が見られます。</p> <p>オススメのゼミは人によって違うので前述した動画を参照してみてください。ゼミ名より内容を重視するといと思います。</p> <p>面白いと思う授業は角一典先生という社会学担当の先生の授業です。ディベート形式で進むものがありグループワークが好きな人は楽しいと思います。</p>
音楽科教育専攻になっても楽器のレッスンを受けることは可能ですか？（芸術・保健体育教育専攻（音楽分野））	副科・副専攻という扱いになり専攻生より短時間ですがレッスンを受けることができます。
質問です。美術分野の実技試験の持ち物として、鉛筆用具一式と書いてありますが、デスケルや、画用紙、カルトンは必要でしょうか？デスケルは試験中に使用しても良いですか？（芸術・保健体育教育専攻（美術分野））	カルトン、画用紙は大学で用意いたします。デスケル（Dスケル）の使用については、各受験生の判断となります。
実技試験について→鉛筆の濃さは試験当日にわかりますか？（芸術・保健体育教育専攻（美術分野））	鉛筆の濃さは、特に指定していません。6Bから7Hまでを想定しています。
大学と地域社会との関わりにはどのようなものがあるのか教えてください。（教育発達専攻）	サークルやボランティアの活動として、地域の幼稚園・小学校・その他施設等で学習支援や読み聞かせ、一緒に遊ぶなどがあります。授業やゼミの一環として大学の外で学ぶこともあるようです。
女子寮の雰囲気や住む上での注意点、寮に入るための条件や必要なものなどを教えてください。（国語教育専攻）	<p>女子寮の雰囲気 先輩方との距離が近く、特に同室の先輩とはみんな仲良しです！他専攻の学生とも友達になれます！同じ専攻の先輩からはテストのことを教えてもらったり履修登録と一緒にやったりする学生も多いです。共同スペースではルールがあるため、共同生活での規律をわきまえた行動が求められます。居室では先輩と2人部屋なので、各部屋2人の間でルールを作ってお互いが守るようにしています。入寮申込のあとに部屋割りのアンケートが送られてくるので、生活サイクルや共同生活の価値観が合う人と同じ部屋になれると思います。なお、専攻、出身、学年が異なる人と同室になります。</p> <p>住む上での注意点 2人部屋なので、常に人が隣にいる状態になります。そして距離も近いので、1人部屋に住みたいと考えている人は注意した方がいいと思います。また共有場所では私物の保管やルールを守ることが求められると思います。</p> <p>入るための条件 学生寮は、自宅からの距離が遠いなどの通学状況及び父母の経済状況を調査し、より状況が困難な方から優先的に入寮いただいています。入寮選考には父母の所得に関する書類、控除に関する書類等が必要です。 入寮可能数はその年の空室数と入寮希望者数に左右されるため、このくらいの条件であれば入寮できます、と言うことはできませんが、過去3年間は男子寮、女子寮とも比較的空きがあり、希望者は全員入寮しています。</p>
学校型選抜の面接で以前どのような質問があったのか、解答のできる範囲で詳しく教えてください。（生活・技術教育専攻）	家庭科：家庭科についての基本的な知識（栄養素など）や自身の思い描く教師像や自己分析、部活や日常生活について質問されています。
ゼミはどのようにして選択しましたか？（英語教育専攻）	1年生のはじめに5つあるゼミをそれぞれ見学する期間があります。多くの学生は、この期間を通じて自分の興味や希望進路にあったゼミを選択していきます。その後、希望ゼミ調査を行い、最終的なゼミ配属が行われます。この際全員が希望のゼミに配属されるとは限りません。また、ゼミ選択の理由は様々です。ゼミの活動の様子や雰囲気や優先して考える学生や、希望進路に沿っているかを優先して考える学生などがいます。
社会科専攻の中でも英語の論文や英語のものを読むことはありますか。（社会科教育専攻）	1年生は全員共通で英語の授業を受けることになるので、その時に英語に触れる機会があります。社会科の中だと外国史ゼミは英語の翻訳などをすることが多いようです。4年生で卒業論文を書く時に海外の論文を読むことは大いにあります。